

平成22年度事務事業評価表(平成21年度振り返り)

政策名 豊かな出会いでにぎわうまち

施策番号・名 20 文化活動の推進

基本事業番号・名 20-02 郷土芸能の保存と育成

事務事業 番号	所管課係名	事務事業の目的 (事務事業の対象、手段、意図)	対象指標 (対象の数値指標化)		活動指標 (手段の数値指標化)		成果指標 (意図したことの結果の 数値指標化)		事業費 (実績額) ① (千円)	人件費 (理論値) ② (千円)	トータル コスト ①+② (千円)	改革・改善の余地 (目的妥当性・効率性・有効性・公平性から)		改革・改善の余地を踏まえた 平成23年度以降に向けた事務事業の方向性 (所管課長記入欄)				
	事務事業名		指標	実績値 (単位)	指標	実績値 (単位)	指標	実績値 (単位)				選択項目	説明(選択理由)	選択項目	説明(選択理由)			
20-02-01	生涯学習課 文化財係	対象 郷土芸能団体数	平成21年度	6	教芸能団体数	平成21年度	200	継続している郷土 芸能団体数	平成21年度	200	平成21年度	1,000	平成21年度	1,200	選択項目	説明(選択理由)		
	郷土芸能保存の支援事 業		手段 ①郷土芸能団体への補助金交付 ②情報提供等の支援	平成20年度		6	平成20年度		250	平成20年度	250	平成20年度	791	平成20年度	1,041	22年度以降に向けた方向性	現状維持	所管課長名: 生涯学習課 田中 潤
				平成19年度		6	平成19年度		250	平成19年度	250	平成19年度	890	平成19年度	1,140	改善の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	23年度以降に向けた方向性
		意図 郷土芸能団体の活動が継続																

郷土芸能の伝承は、各団体の不断の努力によって維持されており、市の貴重な財産として支援していく必要がある。市の行事等の出演依頼が近年増加し、活動も活発であるため、今後は一層の側面支援の充実が必要である。21年度は南沢獅子舞が4年ぶりに実施され、市もパンフレットの作成支援、記録映像の作成などの協力を行った。

郷土芸能団体の活動が減少する中、厳しい運営が続いているが自立的な団体運営を図る必要がある。